

IV 住民自治協議会へのアンケート結果

1 アンケート調査の概要

(1) 実施時期

平成 23 年 9 月 5 日（月）から 9 月 30 日（金）まで

(2) 調査方法

平成 23 年 9 月 5 日開催の住民自治協議会連絡会で趣旨等を説明の上で、Eメールにより調査票を送付したものです。

(3) 回収状況

全 32 地区から地区活動支援担当を通じて回答を得ました。

2 地域課題解決のために工夫した取組や事業の実施について

平成 22 年度から本格的な活動を開始するに当たり、「地区課題解決のために特に力を入れたり、工夫した取組み・事業がありますか」と質問したものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 ある	26	81.3
2 ない	6	18.7

(2) 「ある」と回答した地区が記載した具体的内容（複数回答あり）

全回答は巻末に掲載していますが、以下に主なものを抽出しました。

具体的内容	回答地区数
1 組織の見直し	8
2 地域やる気支援補助金を活用した事業の実施	5
3 広報活動の充実	2

(3) 考察

住民自治協議会が設立されて間もない時期にもかかわらず、80%を超える地区が地区課題解決に向かい、地区ごとに様々な方法により知恵と工夫を出している結果となりました。

3 役員等の負担軽減のために工夫したことについて

住民自治協議会関係者から、設立以前と比較すると役員を中心に負担が増えたという意見があったため、「役員等の負担を軽減するために、特に力を入れたり工夫したことがありますか」と質問したものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 ある	24	75.0
2 ない	8	25.0

(2) 「ある」と回答した地区が記載した具体的内容（複数回答あり）

全回答は巻末に掲載していますが、以下に主なものを抽出しました。

具体的内容	回答地区数
1 集会・研修会の同時開催	8
2 類似目的事業の洗い出しと見直し	5

(3) 考察

役員等の負担を軽減するため、4分の3の地区で様々な方法により解決に向けて取り組んでいる結果となりました。

4 予算編成や執行において工夫したことについて

平成22年度から本格的な活動を開始するに当たり、従来にはなかった地域いきいき運営交付金等を含む財源がある中で、「予算を編成（又は執行）する際に、特に力を入れたり工夫したことがありますか」と質問したものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 ある	27	84.4
2 ない	5	15.6

(2) 「ある」と回答した地区が記載した具体的内容（複数回答あり）

全回答は巻末に掲載していますが、以下に主なものを抽出しました。

具体的内容	回答地区数
1 飲食費や懇親会費に関する改善	9
2 予算編成時に特別な組織の設置等	8

(3) 考察

特に力を入れたり、工夫したことが「ある」と回答した27地区のうち9地区が「飲食費や懇親会費に関する改善」と回答しており、改善方法としては「会費制の導入」や「予算の明確化」でした。

他方で、8地区が予算は特別な組織を設けて編成することで、部会や事業間の予算を調整したという回答がありました。

5 担い手確保のために工夫したことについて

高齢化の進行や価値観の変化などにより、活動の担い手の確保が難しいとの意見が多く、地区から寄せられたため、対応について調査するために「担い手を確保するために、特に力を入れたり工夫したことがありますか」と質問したものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 ある	18	56.3
2 ない	14	43.7

(2) 「ある」と回答した地区が記載した具体的内容（複数回答あり）

具体的内容	回答地区数
1 活動サポーターの募集や育成	8
2 役員数の適正化を図るための組織構成	2
3 事業実施時に協力団体からの協力の確保	2

(3) 考察

半数を超える地区が特に力を入れたり、工夫したことが「ある」と回答しており、その内の半数が「活動サポーターの募集や育成」と回答していました。

6 住民参加・理解の促進を図るために工夫したことについて

新たな住民自治組織設立について住民の理解促進が進まないとの意見が多く寄せられたことから、対応について調査するために「より多くの住民参加・理解の促進を図るために、特に力を入れたり工夫したことがありますか」と質問したものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 ある	28	87.5
2 ない	4	12.5

(2) 「ある」と回答した地区が記載した具体的内容（複数回答あり）

具体的内容	回答地区数
1 広報紙の定期的発行	25
2 定期的な広報紙以外のチラシやパンフの回覧	8

(3) 考察

28地区が特に力を入れたり、工夫したことが「ある」と回答していました。全地区が定期的な広報紙を発行している中で、8地区が「定期的な広報紙以外のチラシやパンフの回覧」と回答していました。

また、11地区が独自にホームページを開設しているものの、4地区が具体的な記載の中で「ホームページの開設」と回答していました。

7 地区課題を把握するためのアンケートの実施について

地区課題の解決や地区住民のニーズに沿った事業の展開を目指そうとする住民自治協議会のアンケート実施状況を調査するために「過去に地域課題を把握するために、住民向けのアンケートを実施したことがありますか」と質問したものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 ある	26	81.3
2 ない	6	18.7

(2) 考察

内容や結果の詳細は不明ですが、26 地区で実施済みや実施予定であり、複数回実施している地区が 2 地区ありました。

8 事業やイベントへの住民の参加状況について

質問 4 で「担い手確保のために工夫したこと」、質問 5 で「住民参加・理解の促進を図るために工夫したこと」を質問しましたが、ここでは工夫した成果について調査するために「事業やイベントなどへの住民の参加状況は変わりましたか」と質問したものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 増えてきた	13	40.7
2 減ってきた	3	9.3
3 変わらない	16	50.0

(2) 考察

質問 4 と質問 5 では半数以上の地区で、担い手の確保や住民参加・理解の促進を図るための工夫をしたことが「ある」と回答していましたが、住民の参加状況については 13 地区が「増えてきた」と回答していました。

9 住民の自治活動への参加意欲について

質問 5 で「住民参加・理解の促進を図るために工夫したこと」を質問しましたが、ここでは工夫した成果について調査するために「住民の皆さんの自治活動への参加意欲が高まってきたと感じますか」と質問したものです。

なお、目には見えにくい事項に関する調査であり、各地区で統計を取っていることは考えられなかったため、アンケート回答者の感覚に頼った聞き方としたものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 高まってきた	5	15.6
2 減少してきた	1	3.1
3 どちらともいえない	26	81.3

(2) 考察

質問5では28地区で工夫をしたことが「ある」と回答していましたが、26地区が住民の自治活動への参加意欲は「どちらともいえない(変わらない)」と回答していました。

10 役員等の負担軽減について

質問2で「役員等の負担軽減のために工夫したこと」を質問しましたが、ここでは工夫した成果について調査するために「役員等の負担は軽減されてきたと感じますか」と質問したものです。

なお、目には見えにくい事項に関する調査であり、各地区で統計を取っていることは考えられなかったため、アンケート回答者の感覚に頼った聞き方としたものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 軽減されてきた	2	6.3
2 増えてきた	17	53.1
3 変わらない	12	37.5
4 無回答	1	3.1

(2) 考察

質問2では24地区で工夫をしたことが「ある」と回答していましたが、17地区が役員等の負担は「増えてきた」と回答していました。

11 より良い地域づくりを進めるための創意工夫等について

平成22年度から本格的な活動を開始するに当たり、質問1から3で「地域課題解決のために工夫した取組や事業の実施」や「予算編成や執行において工夫したこと」を質問しましたが、包括した尋ね方に変えて「より良い地域づくり

を進めるために、創意工夫を凝らしたり柔軟な発想を取り入れようとする気運が高まってきたと感じますか」と質問したものです。

なお、目には見えにくい事項に関する調査であり、各地区で統計を取っていることは考えられなかったため、アンケート回答者の感覚に頼った聞き方としたものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 高まってきた	16	50.0
2 減少してきた	1	3.1
3 どちらともいえない	15	46.9

(2) 考察

新たな住民自治組織の活動を迎えるに当たり、半数の16地区で「高まってきた」と回答していた反面、およそ半数の15地区が「どちらともいえない」と回答していました。

12 自分たちの地域は自分たちでつくる意識について

質問 10 と同様の趣旨で、「自分たちの地域は自分たちでつくる意識が高まってきたと感じますか」と質問したものです。

なお、目には見えにくい事項に関する調査であり、各地区で統計を取っていることは考えられなかったため、アンケート回答者の感覚に頼った聞き方としたものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 高まってきた	11	34.4
2 減少してきた	0	0
3 どちらともいえない	21	65.6

(2) 考察

約3分の1の11地区で「高まってきた」と回答していた反面、約3分の2の21地区が「どちらともいえない」と回答していました。

13 困っていることや課題について

本格的な活動を開始してから1年半が経過した中での課題について、「現在困っていること、課題となっていることを箇条書きで記載してください」と調査したものです。

(1) 結果

選択肢	回答地区数	割合 (%)
1 記載あり	32	100.0
2 記載なし	0	0

(2) 記載があった地区の具体的内容（複数回答あり）

全記載は巻末に掲載していますが、以下に主なものを抽出しました。

具体的内容	回答地区数
1 活動の担い手の不足と育成に関すること	14
2 事務局体制に関すること	6
3 活動拠点に関すること	5
4 住民の住民自治協議会への理解に関すること	4
5 長野市からの依頼事務に関すること	3

(3) 考察

全地区から困っていることや課題を抱えているとの回答がありました。具体的には「活動の担い手の不足と育成に関すること」の回答が一番多く、質問4で担い手確保のために工夫したことが「ある」と回答した地区は18ありましたが、解決されずに課題として抱えている結果となりました。